



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.41

地域連携病院③「医療法人 徳寿会 鴨島病院」

今回は、吉野川市鴨島町にある鴨島病院をご紹介します。

■地域医療を支える病院

鴨島病院は、徳島大学病院、徳島県立中央病院や吉野川医療センター等の急性期病院からの地域の受け皿として、主に整形外科と脳神経外科の患者さんを中心に、また難病や終末期等の患者さんを幅広く受け入れる体制を整えています。

昨年(2022)の10月には、新病院が完成し、回復期病床120床、医療療養病床58床、介護医療院が90床となりました。特に回復期の病床数はおそらく県内で一番多く、多職種間で情報共有しながら、患者さんの在宅復帰に力を入れています。

毎月退院される患者さんのうち、約40～50名の方が在宅復帰されますが、介護が必要な患者さんの退院の際には、ケアマネージャーさんや関係事業者さんと連携し、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーがご自宅に伺い、在宅環境を整えて、その後のサービスにきちんと繋がれるようにしています。

最近は身寄りのない患者さんや独居の高齢者世帯が増えており、周囲に支援してくれる人がいない場合には、公的な機関とも相談し、一人一人に合わせた支援を行えるよう心がけています。

また、鴨島病院には、併設の介護老人保健施設やグループホームもあり、医療療養病床や介護医療院と併せ、慢性期から終末期までの医療と介護を提供しています。



■リハビリテーション

鴨島病院には、総勢78名の理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士が地域におけるリハビリテーションに尽力しています。入院患者さんだけでなく、退院された患者さんや地域でのリハビリが必要とされた方々の訪問リハビリテーションも行っています。

また、地域の方々へ「介護予防体操」の指導、支援学校への訪問や外来での小児のリハビリテーションにも力を入れており、保護者へのサポートも行っています。

■徳島大学病院との連携

鴨島病院には徳島大学病院から、血液内科、整形外科、精神科及び眼科の医師が週1回程度派遣され、入院患者を中心に診療をサポートしており、徳島大学病院から紹介された患者さんも安心して診療を受けられているようです。

また、昨年度は新型コロナの影響で、在宅医療を希望される患者さんが多く、徳島大学病院からバックベッド(在宅療養中の急変時に入院対応できる病床)の依頼があり、院内で検討し、地域の患者さんが困った時には受け入れられるようにしています。

今後も徳島大学病院や開業医の先生方等と連携をとりながら地域医療に貢献していきたいと考えています。



「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようにサポートしています。

問い合わせは

医療法人 徳寿会 鴨島病院
徳島県吉野川市鴨島町内原432番地
TEL.0883-24-6565

■説明は

(下段左から)
土橋 孝之(つちはし たかゆき)理事長
浅野 登(あさの のぼる)院長
石原 美花(いしはら みか)看護部長
(上段左から) 患者支援相談室
佐藤 今日子(さとう きょうこ)MSW
上原 咲紀(うえはら さき)MSW
廣田 剛己(ひろた こうき)MSW
石井 依子(いしい よりこ)主任MSW

